

令和〇年〇月〇日

〇〇〇〇〇〇

交付決定の手続きがない補助金等については、交付年度及び補助金（助成金）の名称のみご記入ください。

所在地 横浜市〇〇区〇〇 〇-〇-〇

法人名 株式会社 〇〇

代表者職氏名 代表取締役

〇〇 〇〇

消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額報告書

令和〇年〇月〇日付け〇〇第〇〇〇号により交付決定を受けた、令和〇〇年度横浜市〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇補助金に係る消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額について、下記のとおり報告する。

1 横浜市から交付された補助金等の額の確定額

額の確定通知書がない補助金等については、当該年度に最終的に横浜市から支払われた金額を記入してください。

¥10,000,000.-

2 消費税の申告により確定した消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額

¥499,998.-

3 添付書類

- (1) 積算内訳報告書
- (2) 課税期間分の消費税及び地方消費税の確定申告書(写し)
- (3) 課税売上割合、控除対象仕入税額等の計算表(写し)

積算内訳報告書

- 1 施設名
○○○○保育園
- 2 代表者職氏名
代表取締役 ○○ ○○
- 3 施設の所在地
横浜市○○区○○ ○-○-○
- 4 補助事業名
令和○○年度横浜市○○○○○○○○補助金
- 5 横浜市から交付された補助金等の額の確定額
10,000,000 円 ア
- 6 概要

仕入控除税額がある場合の記入例

【この記入例での前提】

- ・消費税率 : 8%又は10%
- ・補助金等の確定額 : 10,000,000 円
- ・補助金の用途の内訳
 - ① 消耗品 : 7,000,000 円
 - ② 人件費 : 3,000,000 円
- ・課税売上割合 : 80%

(1) 補助金の用途の内訳

区分		課税仕入			非課税仕入	合計
		課税売上 対応分	非課税売上 対応分	共通 対応分		
経費の内訳	消耗品(税率8%)	4,500,000	イ	1,800,000	工	6,300,000
	消耗品(税率10%)	500,000	ウ	200,000	オ	700,000
	人件費				3,000,000	3,000,000
	計	5,000,000		2,000,000	3,000,000	10,000,000 ア

(2) 課税売上割合

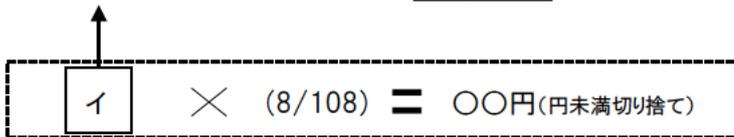
カ 80%

課税売上割合は、「課税売上割合・控除対象仕入税額等の計算表」の「④÷⑦」で算出しますが、割り切れない場合もあるため、その場合は④÷⑦の計算式のまま記入してください。
※割り切れる場合は、その割合を記入してください。

(3) 消費税の申告により確定した消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額

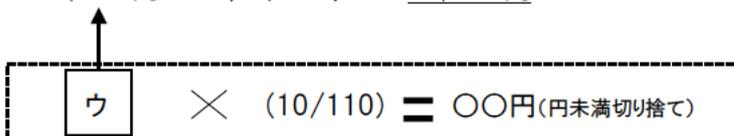
A 課税売上上のみ要する課税仕入れに使用された補助金(税率8%適用分)

$$4,500,000 \text{ 円} \times (8/108) = \underline{333,333 \text{ 円}}$$



B 課税売上上のみ要する課税仕入れに使用された補助金(税率10%適用分)

$$500,000 \text{ 円} \times (10/110) = \underline{45,454 \text{ 円}}$$



C 課税売上と非課税売上に共通して要する課税仕入れに使用された補助金(税率8%適用分)

$$1,800,000 \text{ 円} \times (8/108) \times 80\% = \underline{106,666 \text{ 円}}$$

[エ] × (8/108) × [カ] = ○○円(円未満切り捨て)

D 課税売上と非課税売上に共通して要する課税仕入れに使用された補助金(税率10%適用分)

$$200,000 \text{ 円} \times (10/110) \times 80\% = \underline{14,545 \text{ 円}}$$

[オ] × (10/110) × [カ] = ○○円(円未満切り捨て)

補助金に係る仕入控除税額(A+B+C+D)=333,333+45,454+106,666+14,545=499,998 円

コチラの金額を報告書の「2」に記入してください。